

平成28年度 町政執行方針



3月10日から開催された町議会第1回定例会において、岩村町長が、平成28年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

平成28年第1回町議会定例会の開会にあたり、私のまわづくりに臨む方針と平成28年度予算概要について申し上げます。

私が町長に就任以来、早いもので任期の半分を折り返し3年目に入りましたが、この間、町民の皆様から寄せられました期待と信頼に背くことなく、常に初心に戻り、「地域住民が夢と希望をもって、いつまでも安心して暮らすことができる八雲町」を目指し、全力をもって行政運営に邁進してまいりました。

しかし、昨年は、職員としてあってはならない事故や事件により、多くの方々にご迷惑をおかけする事案が相次いで発生いたしました。また、不適切な事務処理による町営住宅の使用料の過誤徴収など、町民の皆様をはじめ町議会にも大変なご迷惑、ご心配をおかけいたしました。その度に、適切なご指導ご協力を

いただきましたことに心からお礼を申し上げます。平成28年度は、これらのことを教訓として、一層の情熱を持って八雲町の発展に努めてまいります。

また、新八雲町の誕生から10年の節目を迎えた昨年は、多くの皆さまのご協力を得て各分野において記念事業を実施し、10年間の感動と感謝そして八雲町の知名度の向上を図ることができました。これまで、新町誕生にご尽力いただきました皆さまに心から敬意と感謝を申し上げますとともに、今年には八雲町のさらなる発展のスタートの年と位置づけ、前に前に歩みを進めてまいります。

地方創生が叫ばれてから1年が経過しました。全国で総合戦略の策定が完了し、それぞれの地域の未来をかけて、いよいよ計画から実行の段階に入ります。八雲町でも、地域の再生に向けた計画が動き

出します。将来の地域の可能性につなげ、明るい未来の創造に向けて進んでまいります。

3月26日北海道新幹線、新青森―新函館北斗間が開業します。大動脈が日本列島を縦断し、北海道も新たな交通体系に移行いたします。「自然」や「食」をはじめ、地域資源を最大限活用し、新幹線効果を地域経済の活性化につなげるよう取り組んでまいります。

八雲町のまちづくりの基本となる八雲町総合計画の計画期間が平成29年で終了することから、中長期的な八雲町の目指す姿を明らかにするための基本構想及びこれを具体化する計画を2カ年で策定することとし、平成28年度においては住民および団体等アンケートの実施や町民グループ会議などを開催することとしております。

八雲町を愛し、応援したいという人々から広く寄附金を募り、地元特産品を贈呈しております「ふるさと応援寄附金奨励事業」は、当初の予定を大きく上回っていることから、今後は記念品の内容などをさらに工夫し、寄附金の増額に努めてまいります。

町内の街路灯のほとんどは、町内会や防犯街路灯組合などが管理を行い「明るく、住みよい、安全な町づくり」に貢献しておりますが、昨今の度重なる電気料金の値上げ等により、その管理運営が厳しくなっております。このような状況から、消費電力が少なく、町内会等の維持管理経費が軽減され、かつ電気料金やCO2の削減にもつながるLED街路灯の設置を促進するため、設置費用の助成を図ってまいります。

医療の充実、地域で安心して暮らすための重要な条件の一つであります。八雲総合病院は中央棟が完成し、昨年12月から新棟での診療も開始されておりますが、平成28年度中のグランドオープンを予定しております。

総合病院の経営につきましては、工事等々の影響もあって大変厳しい状況にあります。職員一丸となって経営改善に最大の努力をしてまいります。

熊石国保病院は、安定経営がなされており現体制を堅持しながら、引き続き地域医療の充実に努めてまいります。